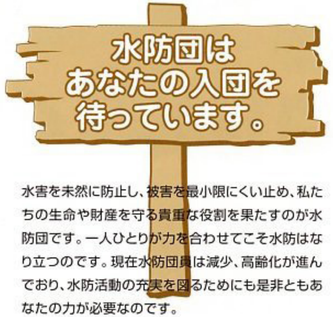
みんなの地域をみんなで守る。

水防団員になりませんか。

■全国の団員数

現在、全国で約93万人の団員が各地の水害で水防活動に従事しています。



水害を未然に防止し、被害を最小限にくい止め、私たちの生命や財産を守る貴重な役割を果たすのが水防団です。一人ひとりが力を合わせてこそ水防はなり立つのです。現在水防団員は減少、高齢化が進んでおり、水防活動の充実を図るためにも是非ともあなたの力が必要なのです。

水防団員は、非常勤の地方公務員という身分を有しており、市町村等で手当等が支給されます。
詳しく知りたい方は、居住する市町村等にお問い合わせ下さい。

国土交通省河川局HP
http://www.mlit.go.jp/river/

いざ！という時のために…

水害から身を守っていくためには、一人ひとりが水害に対して関心を持ち、いざという時に備えて、日頃から準備していることが大切です。私たちにできることからはじめましょう。

日頃から天気予報や注意報に関心を持ちましょう。

台風時や集中豪雨時はもちろん、日頃からTVやラジオなどで天気予報を確認して気象の変化に関心を持ちましょう。国土交通省でもインターネット・iモードで水害の情報を提供しております。

iモード版
http://www.bosaijoho.go.jp/i-index.html

インターネット版
http://www.bosaijoho.go.jp/

避難場所、避難経路を確認しましょう。

住民のみなさんが災害時において速やかに避難できるように、浸水想定区域や避難場所などを分かりやすく示した「洪水ハザードマップ」の整備などが全国の市町村で進められています。あらかじめ避難場所などを確認し、行き先も決めておきましょう。避難時にはお年寄りや女性、子供を優先的に避難させてください。また、家族が離れている時の集合場所や安全の確認できる方法も決めておきましょう。

緊急時の携行品をひとつにまとめて準備しておきましょう。

緊急時に備えて、貴重品、洋服や下着、非常用食料などをまとめて用意しておきましょう。
停電に備えて、懐中電灯やラジオの準備も大切です。
荷物は避難の邪魔にならず、持ち出しやすいように必要最小限にまとめましょう。

水防月間のイベントに参加しましょう！

水防月間のイベントは水防活動をみなさんに理解していただくため、様々なイベントによるPR活動を全国各地で開催しています。みなさんの積極的な参加、見学を心よりお待ちしています。

水防活動にすすんで参加しましょう。

主な水防演習等スケジュール

演習名	実施日	実施場所
大和川水防・大阪府地域防災総合演習	5月14日(土)	大和川(左岸):大阪府堺市遠里小野地先
大淀川・小丸川水防演習	5月15日(日)	大淀川(左岸):宮崎県宮崎市鶴島地先
利根川水系連合水防演習	5月21日(土)	利根川(左岸):群馬県伊勢崎市八斗島地先
三重四川連合水防演習	5月22日(日)	雲出川(左岸):三重県久居市木造町地先
佐波川水防演習	5月22日(日)	佐波川(左岸):山口県防府市古祖原地先
最上川・赤川合同水防演習	5月28日(土)	最上川(右岸):山形県酒田市下瀬地先
千曲川・犀川連合水防演習	5月28日(土)	千曲川(左岸):長野県千曲市大字野高場地先
四万十川水防演習	5月29日(日)	四万十川(左岸):高知県中村市鍋島地先
石狩川水防公開演習	6月18日(土)	当別川(右岸):石狩郡当別町当別太地先
津波防災総合訓練(実地訓練)	7月のうち1日	和歌山県沖岸

備えは、万全ですか？

いつ起こるかわからない水害、だからこそ日頃からの備えが大切です。

洪水から守ろうみんなの地域

水防月間

平成17年5月1日(日)→5月31日(火)
北海道 6月1日(水)→6月30日(木)

水害から大切な命や財産を守る水防活動にご協力ください。

主唱　国土交通省、内閣府、都道府県、水防管理団体(市長村等)
後援　警察庁、防衛庁、総務省消防庁、全国知事会、全国市町村会、全国町村長会、日本放送協会、(社)日本新聞協会、(社)日本民間放送連盟、日本赤十字社
協賛　全国水防管理団体連合会、(社)日本河川協会、全国治水期成同盟会、(社)建設広報協議会、(社)全国海岸協会、(社)全国治水砂防協会、(社)全国砂防協会、(社)全国土木コンクリートブロック協会、(社)ダム・堰施設技術協会、(社)南水防管理連合技術協会、(財)国土技術研究センター、(財)ダム技術センター、(財)ダム水源地環境整備センター、(財)リバーフロントー整備センター、全国建設弘済協議会